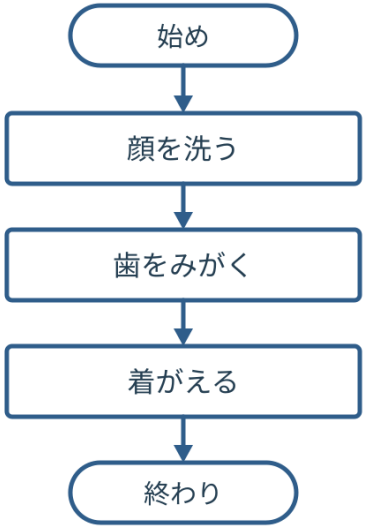
プログラムの基本の形（順次・分岐・反復）

プログラムは、どのような形の組み合わせでできているのだろう

順に進む 「順次」

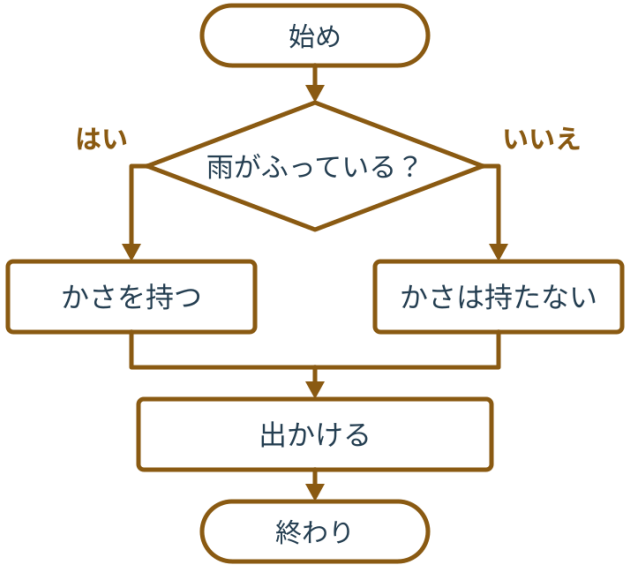


上から順に、1つずつ進む

コンピューターでは

ロボットが「前に進む→右を向く→前に進む」の順に動く

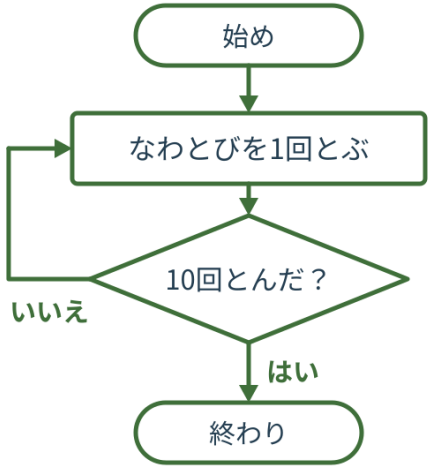
条件で分かれる 「分岐」



コンピューターでは

センサーが前に物を感じたら止まり、感じなければ進む

くり返す 「反復」



10回とぶまで、「とぶ」をくり返す

コンピューターでは

「前に進む→90度曲がる」を4回くり返して、正方形をかく

記号の意味

始め・終わり　すること（処理）　判断（はい・いいえで分かれる）　進む向き

※ フローチャートの記号の形は、教科書や教材によって違うことがある。